

平成25年度
(第1四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)売上面においては、前年同期比92.0%、目標比91.1%の実績となりました。経費面につきましては、一般管理費のコスト削減に努めて、前年同期比91.0%の実績となりました。経常利益は、昨年富山市からの助成金があったことから、前年同期比53.8%、2200万円となりました。

(事業運営面)新たな中期五か年計画の一年目である2013年度は、①「売上重視」から「収益構造改善」へ方針転換。②コスト削減の中での「成長戦略」の推進という2大方針を掲げて事業に取り組んでまいります。

○ 課題への取組み

本社販売4部門(医薬品事業部、OTC事業部、グループ会社統括部、企画開発部)の収益構造改善を目標に、課題をスピードある対応でフォローアップし、進捗状況を見える化しております。

○ トピックス、適時情報

1. 第99回定時株主総会が6月24日当社で開催され、取締役7名が選任され、それぞれ就任致しました。その後の取締役会において、代表取締役会長 最高経営責任者に塩井保彦が、取締役社長 最高執行役員に飯田光孝が選任され就任いたしました。この結果、当社の取締役の陣容は下記のとおりとなりました。

代表取締役会長 最高経営責任者 塩井保彦、取締役社長 最高執行役員 飯田光孝、取締役 竹内二三雄、取締役 小沢伊弘、取締役 新田八朗、取締役 阿部武夫、取締役 濟木育夫

2. JA氷見市との共同開発による「透白美人enrich」富山の美・味プレゼントキャンペーンを開催しております。

○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第1四半期、平成25年4月～6月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	2,568,349	2,723,532	2,873,889	2,644,706
経常利益	70,466	-42,362	39,988	21,501

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

売上面では、前年同期比94.7%で推移しました。減少要因としましては、配置卸業での販売が伸び悩んだことによるものです。売上原価は、前年同期比90.31%となり、1000万円の経常利益となりました。

○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第1四半期、平成25年4月～6月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	3,266,665	3,334,523	3,499,779	3,316,588
経常利益	65,044	-38,643	-23,225	9,948

平成25年度
(第1四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

薬都広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

昨年度発売した新商品については順調に推移しておりますが、既存配置用医薬品の低迷に有効な打開策を取れず、売上高は前年同期比82.2%、目標比90.7%、経常損失は2000万円です。第1四半期を終えました。

(事業運営面)

配置市場に求められる製品の開発し、販売すること、および製品の適切な統廃合を推進します。また、懸場保全はもとより、製品とサービスを組み合わせた新たな配置ビジネスモデルの構築に取り組みます。

○ トピックス、適時情報

- 6月21日に第7回定時株主総会および取締役会を開催し、取締役3名、監査役1名が選任されました。
代表取締役社長 劔田義徳 取締役 槻太朗(東京支店長兼任) 取締役 川筋邦夫 監査役 村達男
- 第1四半期において下記製品の取り扱いを開始いたしました。
・ウット【第②類医薬品】 ・ポボンSローヤル【指定医薬部外品】
・ハイドロQキズパッド【管理医療機器】 ・さわやかコレクトW抗菌【雑貨】

○ 業績の概況 (第1四半期、平成25年4月～6月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	896,380	878,120	877,553	721,098
経常利益	-6,226	-8,370	-19,568	-20,043

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は、100mLドリンクなどの販売増が寄与し、前年同期比102.8%の11億7500万円となりました。経常利益は前年同期比87.5%の3200万円となりました。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部および食品事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。年間を通じて順次製品を上市しております。

○ トピックス、適時情報

- 6月14日に第53回定時株主総会および取締役会を開催し、取締役3名、監査役1名が選任されました。
代表取締役社長 宇多雅美 取締役 吉岡毅 取締役 江野本加寿雄 監査役 村達男
- 新発売(4～6月)
食品経口補水液500mL 1アイテム、炭酸飲料120mL 1アイテム
医薬品 かぜ薬 1アイテム

○ 業績の概況 (第1四半期、平成25年4月～6月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	960,631	1,100,250	1,143,140	1,175,010
経常利益	35,789	40,845	36,630	32,048

平成25年度
(第1四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 第1四半期(4月～6月) 販売面では売上高前年同期4億9400百万円に対し5億2000万円、前年同期比105.3%となりました。経常損失が前年同期5400万円に対し2300万円と縮小いたしました。

(事業運営面)

- 年間1200万円の売上高に応じた担当配備という方針変更による売上及び人員の適正化を図りました。
- 新製品『煌活寿』及び『新規希釈飲料(柚香美人、りんご黒酢)』の集中販売を実施いたしました。
- 西日本地区22000軒の既存顧客に試供品付きのDMを送付、今後の販売チャネルの拡大を図りました。

○ トピックス、適時情報

1. 第9回定時株主総会が6月21日当社で開催され、取締役3名の選任及び就任と監査役1名の辞任が承認されました。その後の取締役会において、代表取締役社長に我妻敏幸が選任され就任いたしました。この結果、当社の取締役の陣容は下記のとおりとなりました。

代表取締役社長 我妻敏幸、取締役 飛田聡、取締役 但中秀隆、監査役 村達男

- 経費削減の一環として4月に世田谷の板橋営業所への統合、6月に仙台南の仙台営業所への統合を実施いたしました。
- 平成25年度新卒者を開発推進グループへ配属、6月まで新懸研修を実施致しました。結果963軒の新懸顧客を獲得いたしました。

○ 業績の概況 (第1四半期、平成25年4月～6月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	480,896	484,583	493,984	519,990
経常利益	-2,670	-9,197	-54,277	-22,687

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 売上面においては、前年同期比98.8%、目標比に対して93.3%となりました。経費面につきましては、販売一般管理費等のコスト削減に努めて前年同期比96.8%の実績となりました。経常損失は、前年同月120万円から80万円となりました。

(事業運営面) 水剤文化の構築をテーマに、3月5月サンリキソzⅡ、6月～透白美人の強化月間として愛用者づくりに邁進しております。

○ トピックス、適時情報

1. 第9回定時株主総会が6月20日当社で開催され、取締役3名、監査役1名が選任されそれぞれ就任いたしました。その後の取締役会で代表取締役社長に平井裕が選任され就任いたしました。この結果、当社の取締役の陣容は、下記のとおりとなりました。代表取締役社長平井裕、取締役但中秀隆、取締役塩井貴晴、監査役村達男

- 6月に沖縄県配置協議会事務所が当社内に移転いたしました。

○ 業績の概況 (第1四半期、平成25年4月～6月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	92,431	73,878	64,598	63,798
経常利益	-5,729	-14,199	-1,194	-783